



「英知・友愛・錬磨」
令和3年度「3C=Change・Create・Continue」

～変化する・創造する・継続する～

福岡市立下山門中学校

校長 有友 剛

発行日：令和4年3月24日



Change(変化する)・Create(創造する)・Continue(継続する)

「3つのC, Change・Create・Continue」は!?

学校の正門にある桜のつぼみが開花する時期を計っているかのように、そのふくらみが大きくなってきています。さて、今年度は、「3つのC」を掲げ、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みを継続しながら、1年間を過ごしてきました。限られた状況、毎日の変化を求められる中でも皆さんは、仲間とともに切磋琢磨し、成長している姿を見せてくれたと思います。4月には学年がひとつ上がり進級します。新しい学年、クラス、仲間とともに何素晴らしいドラマが起こることに期待して、そのための準備をしておきましょう。自分に期待をもちながら・・・。

<おさらい>



Change 変化する

自分の生活している環境が変化したり、自分が変わることを求められたときにでも柔軟に対応できるような人になろう。新しい事を学び続け、変化することで自分を成長させよう。



Create 創造する

学校の活動の中で級友と積極的に交流し、協働することによって、今まで気づかなかったことに気づいたり、知らなかったことを知ることができます。さらに、仲間と活動をする中でコトやモノをつくり出し、自分の可能性を広げていこう。

Continue 継続する



これまで培ってきた良い習慣やこれから自分で決めて「やろう!」と思ったことを困難があっても乗り越え、継続していく力をつけよう。一日ずつ積み上げ、それを振り返りながら、前へ前へと自分の道を切り拓いていこう。



Change(変化する)・Create(創造する)・Continue(継続する)

3月8日立志式「人の役に立つ」

2年生の立志式が行われました。クラスでの立志の発表を経た後、体育館でクラスの代表による発表がありました。どの発表も聞き応えのあるものとなりました。自分の事をクラスの、学年の仲間の前で話することは2年生にとって慣れていないことだと思います。少ない練習時間の中で堂々と発表する姿、そして会場では、2年生全員でしっかりと耳を傾けている空気感がよかったです。また、1年生はオンラインでしたが、「次は私たちの番」という動機付けにもなったと思います。



<学校長式辞より抜粋>

ところで、「夢」と「志」はどうちがうのでしょうか?「夢」とは、自分自身が抱いた「あこがれ」から「なりたい自分」として描いたもの、自分個人を中心に描いた、「なりたい自分の姿」です。その上に立って、「夢」から「志」に高めるためには、様々な人との出会いや自身の経験から学んだ事を元に「今、世の中が求めていること」や「自分を取り巻く人が求めていること」は何なのか?.....

「志」は世のため人のためになりたい、貢献したいという個人の夢を越えた、誰かの喜びにつながる使命、まさに利他の心(=稲盛和夫 正しい事をするだけでは足りない、人のためになることをする)なのです。「立志の宣言」をするということは、単なる自分の希望の表明ではないのです。自分に見えているものは実現できるが、見えていないものは実現できないといえます。その意味で、みなさんは、未来の自分を見ているのです。見えているのです。だから、実現できるはずです。運命を変えるのは、心の持ちようひとつ、人生は自分でつくるものです。是非とも「志」の火を絶やさず燃やし続けて欲しいと願っています。さあ、生徒の皆さん、今日からは、親にすがって甘えるような心を振り切り、独り立ちした人間になるために、自分の未来に向け、力強く歩んでください。

本日、立志式を迎えた二年生が、今日の日を忘れず、「志」を立て、努力を続け、自分の人生を切り拓いていくことを期待しています。



Change(変化する)・Create(創造する)・Continue(継続する)

3月10日卒業式「変化の中で 青い光」

3月10日に199名の3年生が下山門中を巣立っていきました。本年度も、式を縮小して行いました。

保護者や来賓の方々に見守られ、「絆」で結ばれた3年生は、下山門中で歌い継がれている

「TOGETHER」を高らかに歌い、惜別の涙で会場が覆われました。

<校長式辞より抜粋>

また、第三十五期生徒会は、「絆~やる気と笑顔で輝け下中~」というスローガンを掲げ、学校生活の困難な時を、心のつながりを大切にしながら創意工夫した活動を推進しました。それらは、生徒ひとりひとりの心のよりどころとなり、活力の源となっていました。

さて卒業生の皆さん、私たちが生きていく中でどのような道を選ぼうと、共通して持っていることがあります。それは、「迷路の中で自分の道を見つけ、時代の変化の中で自分の望みを成し遂げていくこと」です。そのために、状況の変化をどう受け止め、どのように対応するのか?を求められることになります。

この事について、アメリカの医学博士であり心理学者のスペンサー・ジョンソンは、その著書の中で、「変化は起きる」「変化を予知せよ」「変化に素早く対応せよ」「変わろう」「変化を楽しもう」「進んで早く変わり、再びそれを楽しもう」この6つの点を述べています。まさに、これまで君たちが中学校生活でやってきたことであり、これからの道に生かして欲しいと思います。皆さんの行く手には無限の可能性が広がっています。

YOASOBIというグループの「群青」という曲は、夢を追う人の葛藤が描かれています。その中で、可能性の象徴を「青い光」としています。下山門中学校で仲間とともに学んだことに自信を持って自分の道=「青い光」を広げて下さい。

三年生の皆さん、「出会ってくれてありがとう」

